

S

歌・詞・曲：吉田拓郎

とても長い間君は 愛なんてウソっぱちだわと 強い女が一番似合うんだからと

意地っ張りでいたんだよね 独りでの時は きっと涙も隠して空を見てたんだね

人を信じるって事は 泳げない僕が船に乗るみたいに 誰にも分からない勇気のいる事だから

知らないうちに君も 臆病になってたんじゃないか 少し勇気を出して誰かを愛してみないか

自分の気持ちを抑えてると たとえば愛とすれ違った時 照れくさいしカッコ悪い自分が目に浮かぶから

言葉にするのももどかしく 結局男なんてつまらないわと 心にもない独り言が君を支配してしまうだけ

例えば僕の話をしよう あれは何回目の恋だったっけ それは街中が振り返るほど性格のいい女の人だった

その頃の僕はといえば 今と違って頭スポーツ刈りで 今と違って本当に誰にももてなかった

そんな情けない男が よせばいいのに身の程わきまえず 自分より大幅に上のランクを狙うなんて

だけど僕だって生きてるんだよ 熱い気持ちになれるんだよ フラレてももとの気持ちでぶつかったっけ

彼女はその日まで僕の 事なんて考えた事もなくて 金魚のフンみたいに追っかけてくる男達にうんざりで

あなたちょっと変わってるわねと 海に行こうと誘ってくれて 溺れる僕を見て「好きヨ」って言ってくれた

(Am Bm C D sus4 D Am Bm C D sus4 D)

過去を忘れるのは難しいけど また傷つくことを恐れなくて 本当の事から逃げようとしなくて

もう一度信じてみないかい 自分を輝かしてみないかい 明日の朝君は素晴らしい君を知るはずだ

人生はいくつもの形に 変わっていく雲の様だ その時々を精一杯生きれば良い

笑ったり悩んだりするのも 君が愛に満ちているから ホラ勇気を出して誰かを愛してみないか